



《特別記念トーク》

Charla especial: Cómo leer a Gabriel García Márquez

「ガブリエル・ガルシア・マルケスを読む」

ラテンアメリカ文学を代表するノーベル文学賞作家ガブリエル・ガルシア・マルケス(コロンビア、1927～2014)の代表作『百年の孤独』(1967)は、刊行から半世紀以上を経た今も世界中で読み継がれています。日本でも、2024年の文庫化を機に再び大きな話題となり、社会現象になるほどの売れ行きを見せました。

このたび、早稲田ラテンアメリカ研究所は、『百年の孤独』の愛読者として知られる芥川賞作家・磯崎憲一郎氏(東京科学大学教授、早稲田大学校友(1988年商学部卒))をお招きし、日本の読者を魅了し続けるガルシア・マルケスの魔術的世界について存分に語っていただきます。

トーク終了後にはディスカッションと懇談の時間を設けます。駐日コロンビア共和国大使館のご厚意により、軽食やアルコールを含む飲み物も提供されます。



Escritor Premio Akutagawa, célebre lector de *Cien años de soledad*.

《Programa プログラム》

※Intérprete 通訳: Daniel Orozco ダニエル・オロスコ

18:45～ 開会のあいさつ／Introducción

Sr. José Francisco Díaz (Encargado de Negocios a.i. de la Embajada de Colombia en Japón)
ホセ・フランシスコ・ディアス(駐日コロンビア共和国大使館臨時代理大使)

18:50～ ガルシア・マルケスの読書体験／Lectura personal de Gabriel García Márquez

《Charlista》 Kenichiro Isozaki (Instituto Científico de Tokio)

《トーク》 磯崎 憲一郎(芥川賞作家、東京科学大学リベラルアーツ研究教育院教授)

《Interlocutor》 Ryukichi Terao (Universidad Waseda)

《聞き手》 寺尾 隆吉(早稲田大学社会科学総合学術院教授)

20:30～20:50 議論と懇談／Discusión y conversación

《Comentarista》 Javier Fernández (Instituto Cervantes Tokio, Miembro de WILAS)

《コメント》 ハビエル・フェルナンデス(インスティトゥト・セルバンテス東京文化部長、WILAS メンバー)

※コロンビア大使館提供の軽食・試飲有／Con meriendas y bebidas (cortesía de la Embajada de Colombia)

《日時》2026年1月22日(木)18:45～20:50 ※入場無料、予約等不要

Jueves 22 de enero de 2026, 18:45-20:50 *Entrada gratuita, no se requiere reserva

《会場》早稲田大学 国際会議場 第三会議室 (新宿区西早稲田1-20-14)

La sala 3 del Centro Internacional de Conferencias de la Universidad Waseda
(1-20-14 Nishi-Waseda, Shinjuku-ku)

《問い合わせ先》早稲田大学社会科学総合学術院 寺尾隆吉研究室 tel:03-5286-1413